



クイックスタートガイド



XENYX QX1202USB/QX1002USB

Premium 12/10-Input 2-Bus Mixer with XENYX Mic Preamps & Compressors, British EQs, KLARK TEKNIK Multi-FX Processor and USB/Audio Interface

JP

JP

安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついて 있습니다。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたできません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、LAB GRUPPEN、LAKE、TANNOY、TURBOSOUND、TC ELECTRONIC、TC HELICON、BEHRINGER、BUGERA および DDA は MUSIC Group IP Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP Ltd. 2017 無断転用禁止。

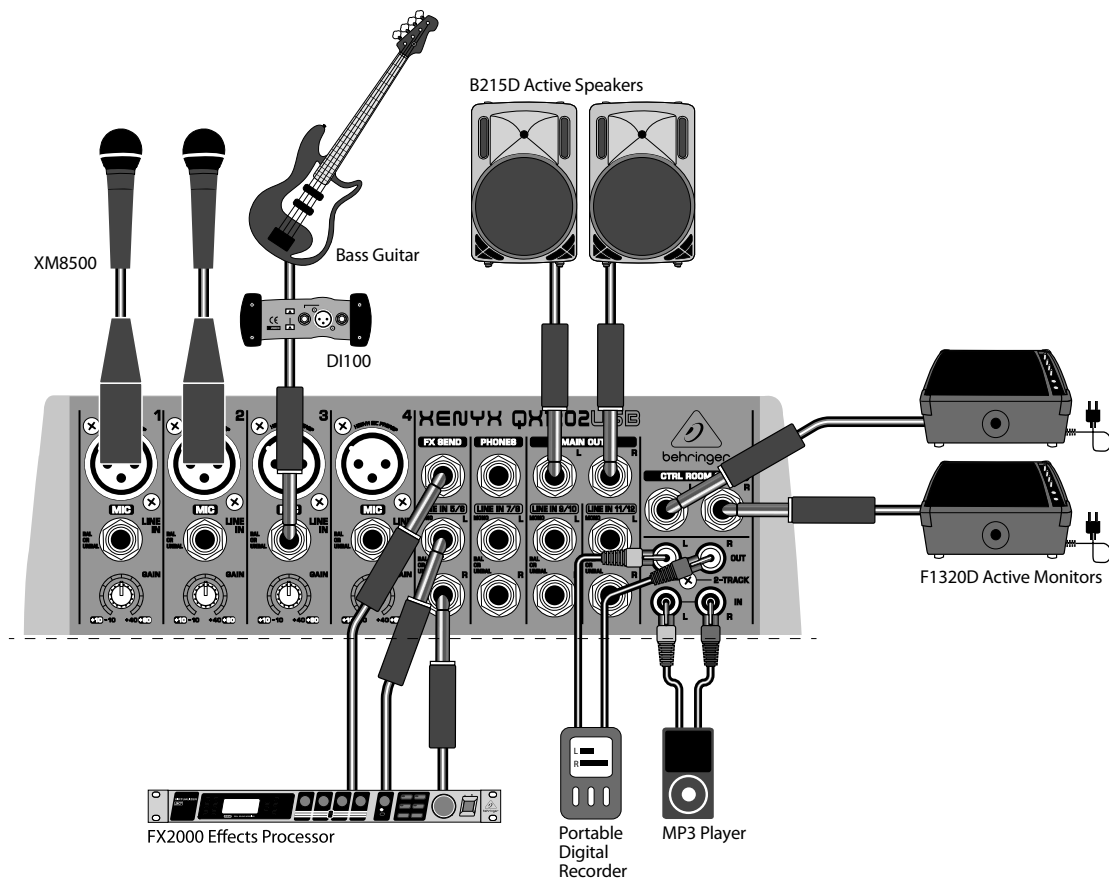
限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

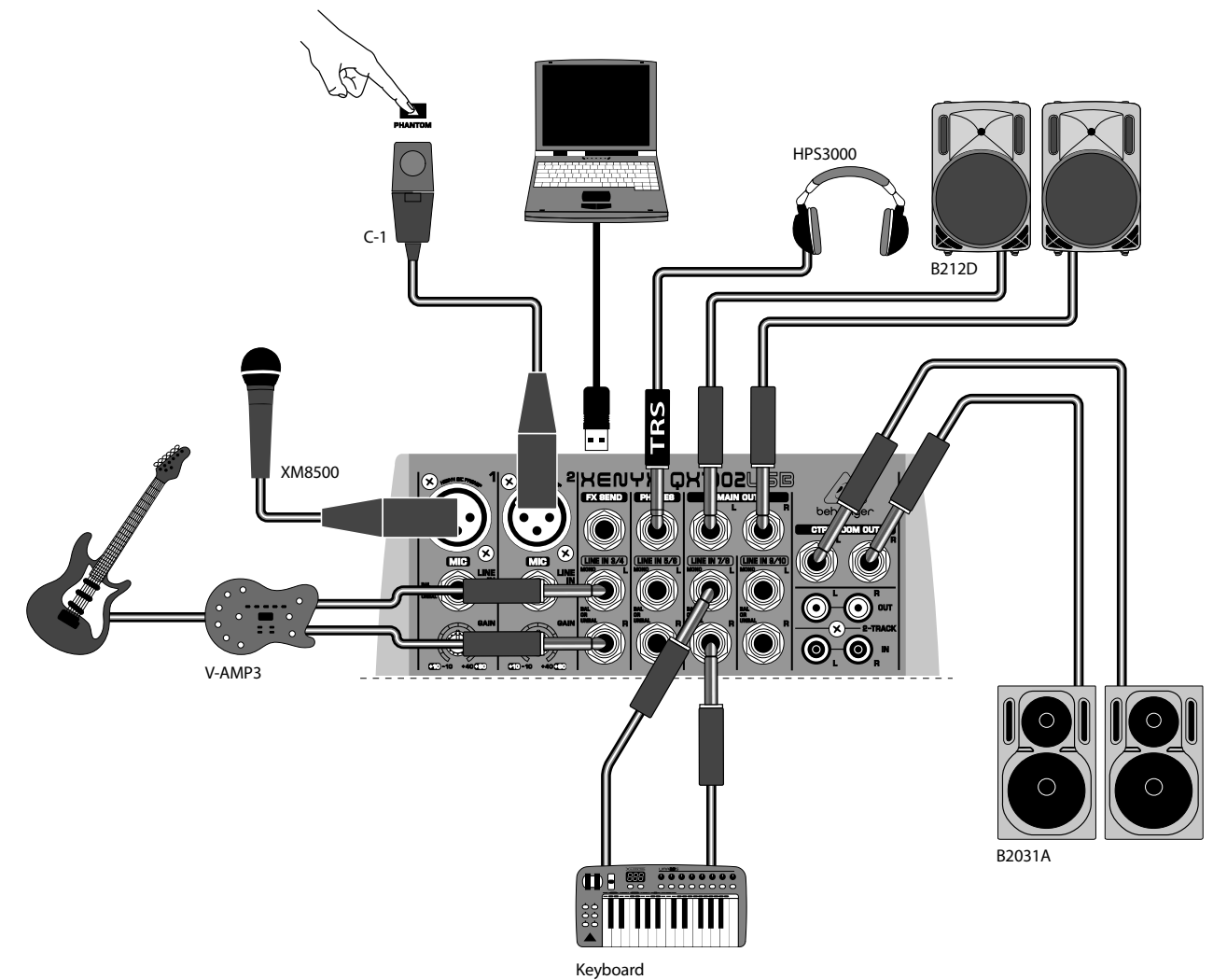
XENYX QX1202USB/QX1002USB フックアップ

ステップ 1: フックアップ

ライブパフォーマンス

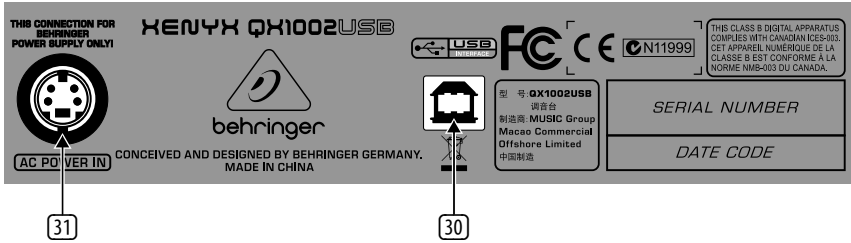
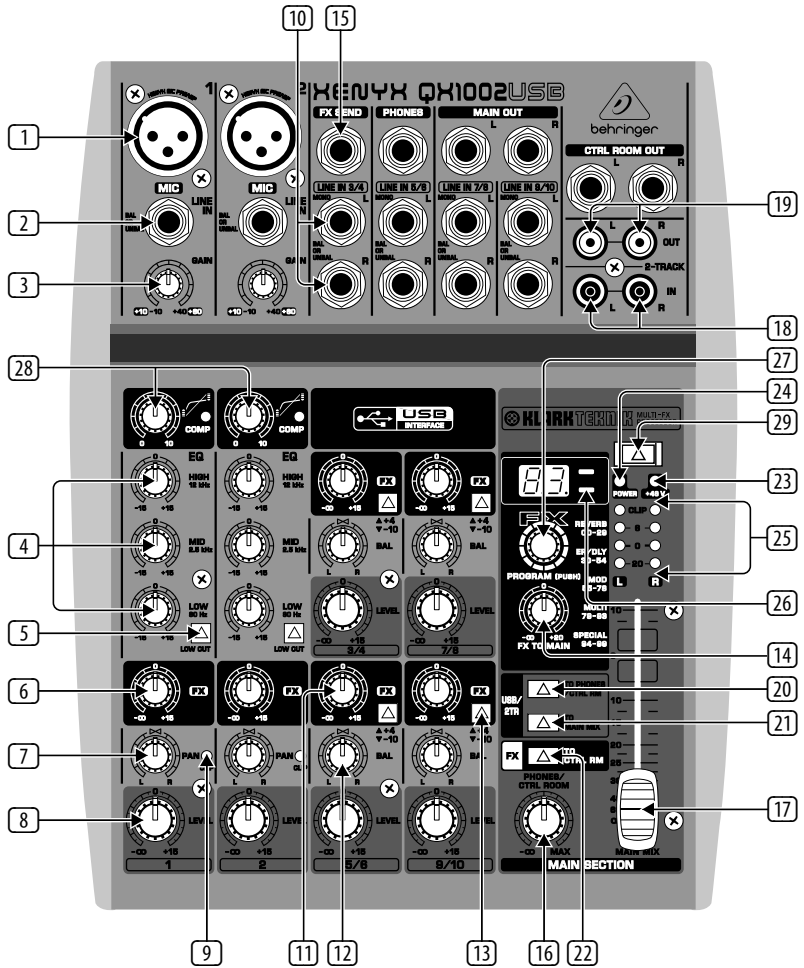
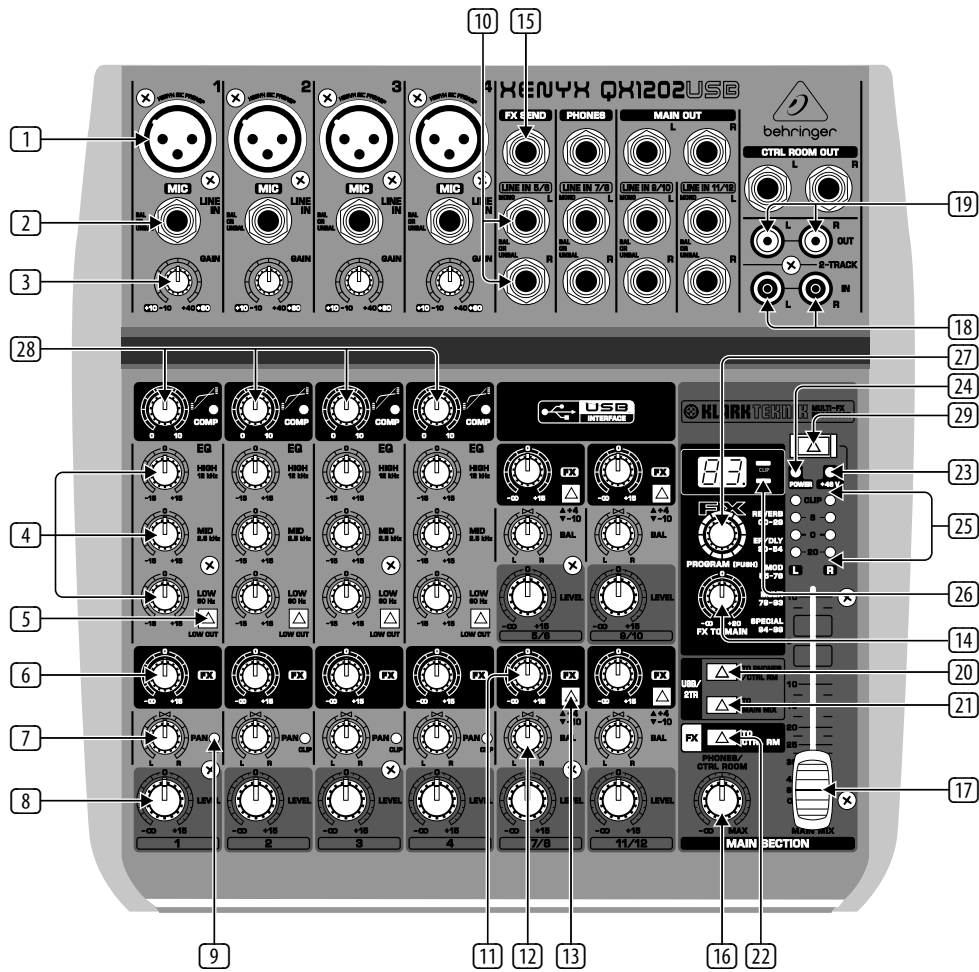


ホームスタジオ



XENYX QX1202USB/QX1002USB コントロール

ステップ 2: コントロール



XENYX QX1202USB/QX1002USB コントロール

ステップ 2: コントロール

この章ではこのミキサーの多彩な操作部について説明し、各コントローラー、スイッチおよび接続端子についての詳細説明を得られます。

- ① **MIC** – それぞれのモノ入力チャンネルは XLR コネクターを使用してバランス型マイクロフォンを接続できます。そしてまた、スイッチの切り替えによりコンデンサーマイク用 +48V ファントム電源も供給できます。XENYX のプリアンプは、外部の高価なプリアンプでしか実現できない類稀な低歪、低ゲインノイズを提供できます。
- ② **LINE IN** – モノラル入力にはさらに 6.3 mm フォンジャックによるバランス型ライン入力端子が装備されています。これらの入力端子にはアンバランス型プラグ (モノラルジャック) を接続することも可能です。マイク入力およびライン入力の両チャンネルの同時使用は絶対にお避けください。
- ③ **GAIN** – GAIN ボットは入力信号増幅の設定に使用します。信号源をいずれかの入力端子に接続したり、そこから切り離したりする際には、必ずこのコントローラーを左端まで回転させてください。
- ④ **イコライザー** – 各モノラル入力チャンネルには、3 バンドサウンドコントローラーが装備されています。各バンドごとに最高 15 dB の高低調整が可能です。各バンドを真中に設定するとイコライザーはニュートラルとなります。
- ⑤ **LOW CUT** – さらにモノラルチャンネルには傾斜の強い LO CUT フィルターが装備されており、好ましくない低域周波数信号を削除することができます。
- ⑥ **FX** – FX センドは、信号を単数および複数のチャンネルから信号を取り出し、バスに総括することができます。バスはミキサーの FX センド出力にあり、ここから外部エフェクト機器に信号を送り込むことが出来ます。エフェクト機器からのリターンは、ステレオチャンネルを経由して行うことが可能です。各 FX センドはモノで、+15 dB までのゲインとなっています。QX1002USB/QX1202USB においては、FX センドは直接内蔵エフェクトプロセッサーへとルートされます。エフェクトプロセッサーが入力信号を受信しているのを確認する目的で、このコントローラーを左端 (-∞) まで廻すのはおやめください。

- ⑦ **PAN** – PAN コントローラーにより、ステレオ領域内におけるチャンネル信号の位置を設定します。コンスタント・パワー特性を有するこの機構では、ステレオパノラマ内の信号位置に関係なくレベル量を一定に保つことが可能です。
- ⑧ **LEVEL** – LEVEL コントローラーにより、メインミックス内のチャンネル信号のレベルを設定します。
- ⑨ **CLIP** – 入力信号が高くなりすぎると、モノラルチャンネルの PEAK-LED 表示が点灯します。この場合には、GAIN コントローラーを使用し、LED ランプが消えるまで前置増幅を下げてください。
- ⑩ **LINE IN** – 各ステレオチャンネルには、左右チャンネルの各フォンジャックにバランス型ラインレベル入力が 2 つずつ装備されています。チャンネルをモノラル使用する際には、「L」ジャックのみを使います。ステレオチャンネルは典型的なラインレベル信号用に構成されています。両方のジャックにはアンバランス型プラグを接続することも可能です。
- ⑪ **FX** – ステレオチャンネルの FX センド経路はモノラルチャンネルと同様の機能を有します。両方の FX センド経路はモノラル方式となっているため、信号が一つのモノラル出力としてミックスされてから FX バス (一本の回路) へ送られます。
- ⑫ **BAL** – チャンネルのステレオ出力をおこなう際には、左右の入力信号が左または右のメインミックスバスへ出力される前の、相対的な左右入力信号の割合を BAL (バランス) コントローラーで調節します。左側のライン入力によりチャンネルをモノラルとして使用する場合、このコントローラーはモノラルチャンネルの PAN コントローラーと同様の機能を有します。
- ⑬ **+4/-10** – XENYX QX1002USB および QX1202USB のステレオ入力には、入力レベル調整用スイッチが装備されており、+4 dBu ~ -10 dBV 間の入力感度の切替が可能です。-10 dBV (ホームレコーディングレベル) に設定した場合は、+4 dBu (スタジオレベル) の場合に比べて入力感度が高くなります。

- ⑭ **FX TO MAIN** – FX TO MAIN コントローラーは、エフェクト信号をメインミックスに送り込みます。このコントローラーを左端まで廻しきると、ミキサーのサム信号にエフェクト信号は一切加わりません。
- ⑮ **FX SEND** – FX SEND コネクターは、FX コントローラーを使用して各チャンネルから取り出した信号を出力する際に使用します。エフェクトバスのマスター信号を処理するためには、このコネクターを外部エフェクト機器の入力端子に接続してください。処理された信号は、エフェクト機器の出力部からステレオ入力へとルートされます。
- ⑯ **PHONES/CONTROL ROOM** – PHONES 接続端子 (上記接続フィールド参照) はステレオフォンジャックとして装備されていますので、ここにヘッドフォンを接続してください。CONTROL ROOM OUT ジャック (アンバランス型フォンジャック) を使用し、信号を総体的 (エフェクトミックスおよびメインミックス) もしくは個別にコントロールすることが可能です。PHONES/CONTROL ROOM コントローラーにより、両方の出力レベルを設定することが出来ます。
- ⑰ **MAIN MIX** – MAIN OUT ジャックはモノラルフォンジャックとしてつのバランス型に装備されています。ここでのメインミックス総体信号のレベルはおよそ 0 dBu となっています。MAIN MIX フェーダーにより出力音量を設定することが可能です。
- ⑱ **CD/TAPE INPUT** – TAPE INPUT ジャックには、CD プレーヤーやテープデッキなどの外部信号源を接続します。もう 1 機の XENYX や当社の ULTRALINK PRO MX882 などからの出力信号をこれらのジャックに接続し、ステレオライン入力として使用することも可能です。
- ⑲ **CD/TAPE OUTPUT** – これらの端子はピンプラグコネクターとなっており、MAIN OUT と並列に結線されています。サウンドカードやレコーダーはここに接続してください。出力信号レベルは、非常に正確な MAIN MIX フェーダーで行います。
- ⑳ **USB/2-TR TO PHONES/CTRL RM** ボタンは USB/2 トラックのプレイバック信号を PHONES/CTRL ROOM へ接続します。

- ㉑ **USB/2-TR TO MAIN MIX** ボタンは USB/2 トラックのプレイバック信号を MAIN MIX へ接続し、2-TR OUT/USB レコーディングの信号をミュートします。
- ㉒ **FX TO CTRL ROOM** – ヘッドフォンおよびモニタースピーカーを使用し、FX センド信号のみをモニタリングする場合には FX TO CTRL R スイッチを押してください。これによりメインミックス信号の音量が切られ、FX SEND 出力信号のみがモニタリングできるようになります。
- ㉓ **ファントム電源** – PHANTOM スイッチにより、モノラルチャンネルの XLR ジャックへのファントム電源供給機能を起動させます。この機能はコンデンサーマイクを使用する際に必要となります。この機能が起動されると、赤色の +48V LED ランプが点灯します。通常はダイナミックマイク (バランス型) のご使用も可能です。不明点に関してはマイクの各製造元にお問い合わせください。
- ㉔ **POWER** – 青色の POWER LED 表示は機器の電源投入を示します。
- ㉕ **レベル表示** – 高精確 4 セグメント・レベル表示により、表示信号の強弱が常時正確にご覧いただけます。
- ㉖ **SIGNAL** と **CLIP LED** – エフェクトモジュールの SIGNAL LED には、十分な高さのレベルを持つ信号の存在が表示されます。この LED は常に点灯していません。しかし、クリップ LED はまれに点灯するようにしてください。クリップ LED が常に点灯していると、エフェクトプロセッサーをオーバードライブしていることとなり、不快な歪みの原因となってしまいます。歪みが発生した場合は、FX コントローラーをいくらか下げてください。
- ㉗ **PROGRAM** – PROGRAM コントローラーには二つの機能があります: これを廻すことで、エフェクトの番号を呼び出します。呼び出したプリセットの番号がディスプレイに点滅によって表示されます。この選択を決定する場合は、このコントローラーを押してください。点滅が消えます。
- ㉘ **COMP** – このノブはチャンネルのコンプレッサーの圧縮量を調整します。
- ㉙ **PHANTOM** – このボタンを押すことにより、XLR 入力にファンタム電源 +48V が送られコンデンサーマイクを使用する事が出来ます。

- ㉚ **USB CONNECTOR** – 標準の USB ケーブルを使用して、コンピューターにミキサーを接続してください。
- ㉛ **AC POWER IN** – 付属の電源ケーブルをここに接続して下さい。



このミキサーは USB にて電気供給できない為、ミキサーに合わせるアダプタで電気供給してください。

XENYX QX1202USB/QX1002USB はじめに

ステップ 3: はじめに

レベル調整: レベルを入れる際には、入力チャンネルの LEVEL コントローラーを中位置 (0 dB) に設定し、GAIN コントローラーで入力増幅を 0 dB に上げてください。

デジタルレコーダーを使用してレコーディングをおこなう際には、レコーダーのピークメーターが 0 dB を超過しないようにしてください。アナログ方式の場合とは異なり、デジタル方式でレコーディングおこなった場合、微小かつ突発的な過入力も耳障りなデジタル歪み発生の原因となります。XENYX に装備されているピークメーターは、ほぼ周波数依存性なくレベルを表示します。信号全種に対してレコーディングレベルを 0 dB とすることが推奨されます。

Presets List

Reverb	
00	Small Chamber
01	Mid Chamber
02	Big Chamber
03	Theater
04	Small Room 1
05	Small Room 2
06	Mid Room 1
07	Mid Room 2
08	Large Room
09	Small Hall
10	Concert Hall
11	Mid Hall
12	Big Hall
13	Ambient Hall
14	Church
15	Short Plate
16	Mid Plate
17	Long Plate
18	Gold Plate
19	Vint250Verb 1
20	Vint250Verb 2
21	Mid Spring
22	Long Spring
23	Gated Reverb Short
24	Gated Reverb Mid
25	Gated Reverb Long
26	Gated Alive
27	Reverse Short
28	Reverse Mid
29	Reverse Long
Early Reflections / Delay	
30	Short Ambience
31	Mid Ambience
32	Live Ambience
33	Big Ambience
34	Stadium
35	Early Reflections 1
36	Early Reflections 2
37	Early Reflections 3
38	Early Reflections 4
39	Slap Delay
Early Reflections / Delay	
40	Short Delay 1
41	Short Delay 2
42	Mid Delay 1
43	Mid Delay 2
44	Mid Delay 3
45	Long Delay 1
46	Long Delay 2
47	Long Delay 3
48	Stereo Delay
49	Ping-Pong Delay
50	Short Echo
51	Mid Echo 1
52	Mid Echo 2
53	Long Echo 1
54	Long Echo 2
Modulation	
55	Soft Chorus
56	Warm Chorus
57	Phat Chorus
58	Classic Flanger
59	Warm Flanger
60	Stereo Flanger
61	Classic Phaser
62	Warm Phaser
63	Heavy Phaser
64	Stereo Phaser
65	Slow Tremolo
66	Fast Tremolo
67	Panner 1
68	Panner 2
69	Detune 1
70	Detune 2
71	Minor Third Up
72	Major Third Up
73	Fifth Up
74	Fourth Down
75	Octave Down
76	Minor Chord
77	Major Chord
78	Jazzy
Multi	
79	Delay + Chorus 1
80	Delay + Chorus 2
81	Delay + Chorus 3
82	Delay + Flanger 1
83	Delay + Flanger 2
84	Delay + Pitch 1
85	Delay + Pitch 2
86	Delay + Reverb 1
87	Delay + Reverb 2
88	Delay + Reverb 3
89	Chorus + Reverb 1
90	Chorus + Reverb 2
91	Flanger + Reverb 1
92	Flanger + Reverb 2
93	Detune + Reverb
Special FX	
94	LFO Filter 1
95	LFO Filter 2
96	Talkbox 1
97	Talkbox 2
98	Overdrive
99	Distortion

JP

技術仕様

QX1202USB		QX1002USB	
Mono Inputs			
Microphone Inputs (XENYX Mic Preamp)			
Type	XLR connector, balanced, discrete input circuit		
Mic E.I.N. (20 Hz - 20 kHz)			
@ 0 Ω source resistance	-133 dB / 137 dB A-weighted		
@ 50 Ω source resistance	-130 dB / 134 dB A-weighted		
@ 150 Ω source resistance	-127 dB / 131 dB A-weighted		
Frequency response (-1 dB)	<10 Hz - 150 kHz (-1 dB)		
Frequency response (-3 dB)	<10 Hz - 200 kHz (-3 dB)		
Gain range	+10 dB to +60 dB		
Max. input level	+10.8 dBu @ +10 dB Gain		
Impedance	1.9 kΩ balanced		
Signal-to-noise ratio	107 dB / 110 dB A-weighted, +22 dB Gain		
Distortion (THD + N)	0.006% / 0.005% A-weighted		
Line Input			
Type	¼" TRS connector, balanced		
Impedance	20 kΩ balanced, 10 kΩ unbalanced		
Gain range	-10 dB to +40 dB		
Max. input level	+21 dBu @ 0 dB Gain		
Frequency Response (Mic In → Main Out)			
<10 Hz - 137 kHz	±3 dB		
Stereo Inputs			
Type	2 x ¼" TRS connector, balanced		
Impedance	20 kΩ balanced, 10 kΩ unbalanced (+4 dBu operating level) 20 kΩ balanced, 5 kΩ unbalanced (-10 dBV)		
Gain range	-20 dB to +20 dB		
Max. input level	+22 dBu		
CD/Tape In			
Type	RCA connector		
Impedance	19.5 kΩ		
Max. input level	+21 dBu		
Equalizer			
Low	80 Hz / ±15 dB		
Mid	2.5 kHz / ±15 dB		
High	12 kHz / ±15 dB		
Aux Sends			
Type	¼" TRS connector, balanced		
Impedance	120 Ω		
Max. output level	+21 dBu		
Aux Returns			
Type	¼" TRS connector, balanced		
Impedance	20 kΩ balanced, 10 kΩ unbalanced		
Max. input level	+21 dBu		

QX1202USB		QX1002USB	
Main Outputs			
Type	¼" TRS connector, balanced		
Impedance	120 Ω balanced		
Max. output level	+21 dBu		
Control Room Output			
Type	¼" TRS connector, balanced		
Impedance	120 Ω		
Max. output level	+21 dBu		
Phones Output			
Type	¼" TRS connector, unbalanced		
Max. output level	+21 dBu / 22 Ω (+25 dBm)		
CD/Tape Out			
Type	RCA connector, unbalanced		
Impedance	1 kΩ		
Max. output level	+21 dBu		
Main Mix System Data (Noise)			
Main mix @ -∞, channel fader @ -∞	-105 dB / -108 dB A-weighted		
Main mix @ 0 dB, channel fader @ -∞	-93 dB / -96 dB A-weighted		
Main mix @ 0 dB, channel fader @ 0 dB	-83 dB / -85 dB A-weighted		
FX Section			
Type	KLARK TEKNIK		
Converter	24-bit Sigma Delta		
Sample rate	40 kHz		
Power Supply			
USA/Canada	120 V~, 60 Hz		
Adapter	MXUL6		
Australia	230 - 240 V~, 50 Hz		
Adapter	MXSAA6		
U.K./Europe	230 V~, 50 Hz		
Adapter	MXUK6 / MXEU6		
China/Korea	220 V~, 50 Hz / 220 V~, 60 Hz		
Adapter	MXCCC6 / MXKR6		
Japan	100 V~, 50/60 Hz		
Adapter	MXJP6		
Output	2 x 14.8 V~, 2 x 500 mA		
USB			
Connector	Type B		
Sample rate	48 kHz		
Physical/Weight			
Dimensions (H x W x D)	50 x 250 x 248 mm (2.0 x 9.8 x 9.8")	50 x 195 x 248 mm (2.0 x 7.7 x 9.8")	
Weight	1.5 kg (3.3 lbs)	1.1 kg (2.4 lbs)	

その他の重要な情報

JP

その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。
- 4. アダプター**は本体側を挿してからコンセントの電源を入れて下さい。

Dedicate Your Life to MUSIC